

# 2015 年若手の会サマースクール

## 油化学・界面科学の研究現場で役立つ最新トピックス

日本油化学会若手の会は、幅広い交流を目的とした若手研究者の集まりです。毎夏、産学官において最先端の研究やユニークな研究を行っている研究者・技術者を招いて「サマースクール」を開催しています。本年度は“油化学・界面科学の研究現場で役立つ最新トピックス”をテーマに、大学、研究所、企業に所属する7名の研究者をお招きして、基礎から応用まで幅広くご講演頂きます。サマースクールは気軽な雰囲気の中、講師の先生方や参加者の方と親睦を深めることができます。また、参加者同士のコミュニケーションも活発図れるため、ぜひとも幅広い人材交流の場としてご活用ください。気軽に参加して頂く企画であるため、ぜひとも普段着でご参加ください。

**主催** 公益社団法人 日本油化学会 若手の会委員会

**日時** 平成27年8月6日(木)13時～7日(金)12時

**会場** ライオン伊豆高原研修センター

(〒413-0232 静岡県伊東市八幡野 1041-37 TEL 0557-53-0321)

**参加費** (宿泊費, 懇親会費, 朝食費を含みます。各日の昼食費は含みません。)

- ・ 日本油化学会正会員・法人会員, 学校官公庁勤務者 24,000 円
- ・ 協賛学会個人会員・法人会員 24,000 円
- ・ 学生 10,000 円
- ・ 一般・会員外 33,000 円

\*懇親会の後も引き続きミキサーを行います。基本的に参加者全員に宿泊をお願いしておりますが、宿泊されない方 a), および一日だけの参加希望の方 b) も併せて募集しております。詳細は下記参加申込先までお問い合わせ下さい。

a) 宿泊されない場合

- ・ 日本油化学会正会員・法人会員, 学校官公庁勤務者, 協賛学会個人会員・法人会員 19,000 円
- ・ 学生 7,000 円 ・ 一般・会員外 28,000 円

b) 1 日のみの参加の場合

- ・ 日本油化学会正会員・法人会員, 学校官公庁勤務者, 協賛学会個人会員・法人会員 14,000 円
- ・ 学生 5,000 円 ・ 一般・会員外 23,000 円

**募集人数** 65 名 (定員になり次第, 締め切ります)

**参加申込締切** 平成27年7月10日(金)

### スケジュールと講演プログラム

1日目 8月6日(木)

12:30~13:00 受付

13:00~13:05 開会挨拶 委員長 原 雄介 (産業技術総合研究所)

【講演1】 13:10~14:05

「やわらかな物質の物理学」

高エネルギー加速器研究機構 瀬戸 秀紀 氏

高分子や界面活性剤、コロイドなどの「やわらかな物質」を、統計力学を基礎にして理解し、一般論を導き出すにはどうすれば良いか。「ソフトマターの物理学」の基礎を、いくつかの例を挙げて概説する。

【講演2】 14:10～15:05

脂肪酸メチルエステルエトキシレートの特長を活かした超濃縮型衣料用液体洗剤の開発

ライオン(株) 兵藤 亮 氏

脂肪酸メチルエステルエトキシレート(MEE)は、低機械力下で脂肪酸可溶化能に優れる植物由来の界面活性剤である。本講演では、MEEの有する特長と共に、本活性剤を活用した超濃縮型液体洗剤開発について概説する。

(休憩)

【講演3】 15:20～16:15

皮膚科学から考える化粧品

千葉科学大学 山下 裕司 氏

皮膚のバリア機能を担う角層は角化細胞と細胞間脂質で構成され、細胞間脂質の正常なラメラ構造の形成は人体を保護する機能(バリア機能)の1つとされている。講演では角層の構造と役割、化粧品配合成分の付与する効果とその評価法について概説する。

【講演4】 16:20～17:15

常温セラミックスコーティング: AD法の原理と応用展開

産業技術総合研究所 明渡 純 氏

エアロゾルデポジション(AD)法は、常温衝撃固化現象を利用して常温で、高密着なセラミックス機能膜を形成する技術である。本講演では、成膜原理やプロセスパラメータなどの基本から実用化事例やエネルギーデバイスなどへの応用開発など、最新情報を紹介する。

17:15～17:30 チェックイン: 部屋へ荷物の移動

17:30～20:00 【夕食・懇親会&一般発表】

司 会 委員長 原 雄介(産業技術総合研究所)

20:00～22:00 自由時間: 入浴など

22:00～ ミキサー

.....2日目 8月7日(金) .....

7:00～8:30 朝食

【講演5】 8:45～9:40

バイオサーファクタントの基礎、種類、特性とその実用

産業技術総合研究所 井村 知弘 氏

環境調和性と機能性を併せ持つ界面活性剤として、バイオベースのサーファクタント(BS)が注目されている。BSには、糖型、ペプチド型など様々な種類のものが知られているが、これらの基礎、特性、実用についてご紹介したい。

【講演6】 9:45~10:40

振動分光法で見た鎖状分子と高分子化合物の固相相転移と構造形成過程

大阪大学 金子 文俊 氏

脂質関連の鎖状分子や高分子は、発生条件や熱履歴等に依存して多彩な固体構造と相転移現象を示す。その結晶成長過程や相転移の機構について赤外分光やラマン散乱等の振動分光法を用いて調べた研究例を紹介する。また中性子散乱法を用いた研究についても紹介する。

(休憩)

【講演7】 10:50~11:45

亜臨界流体の食品加工への応用の可能性

京都大学 安達 修二 氏

亜臨界流体、とくに亜臨界水、は新たな抽剤および触媒としての可能性をもつ。これらの特性に基づいて、亜臨界流体を食品加工へ利用できるかを探るための演者らの基礎的および応用的な知見を紹介する。また、食品加工へ利用するうえでの課題についても言及する。

11:45~11:50 閉会挨拶 副委員長 武仲 能子 (産業技術総合研究所)

11:50~11:55 記念撮影、解散

参加申込先： 日本油化学会若手の会 委員長

産業技術総合研究所 機能化学研究部門 原 雄介

TEL: 029-861-9318 (直通), FAX: 047-861-4457

E-mail: y-hara@aist. go. jp

参加申込方法 申込書に必要事項をご記入の上、FAX (受理の返信をしますので、必ず E-mail アドレスを記載して下さい)、または同内容を明記して E-mail でお申し込み下さい。受理の返信がない場合は、申し訳ありませんがご連絡ください。

参加費支払方法 7月13日(木)までに下記の銀行口座にお振込下さい。振込手数料はご負担下さい。

みずほ銀行 つくば支店

口座番号：普通 1183614 名義：日本油化学会若手の会 (ニホンユカガクカイワカテノカイ)